



耐震性が心配される市役所庁舎

# 総務 水道

一般会計歳入歳出決算の認定  
臨時職員を含めての人員費や  
職員数、研修、健康管理は  
指定管理者移行もあり、正  
規職員は減少し臨時職員は  
増えています。職員研修につ  
いては、様々な研修やISO  
の取り組みでスキルアップ  
を図り、特に現状を踏まえ政  
策立案能力の向上を図る研  
修を実施している。健康管理

では、毎年、健康診断を行い  
有所見者には再検査を促し  
ている。また精神疾患につ  
いては、早めのカウンセリング  
を促し人事配置で自己申告  
の内容を考慮しています。  
職員採用試験の内容は  
教養試験、作文試験は他市  
と同様ですが、今年度から心  
理適正検査を導入し、1次試  
験を統一試験日からはずし  
7月に実施しました。

税金滞納者の生活再建支援は  
支払い能力に応じた納付  
と、消費生活相談への案内を  
している。また法律相談や専  
門家に相談することが必要  
な事もあり、市役所内部で横  
の連携を持って対応します。  
不納欠損の基準は  
規定により無財産、生活困  
窮、所在かつ財産不明が3年  
間継続した場合。企業は解  
散時の即時欠損。また効  
による不納欠損もあるが自  
己破産免責は該当しません。  
平成22年度不納欠損件数は  
873件です。

## 都市計画税活用事業は

都市計画事業、区画整理事  
業に活用し、余剰は新駅設置  
や新小学校設置などの真に

必要事業に活用しています。

賛成多数で認定

水道事業会計決算の認定  
人口減少時代に逆ざやをど  
うしていくのか  
今後分担金が減少し3条  
予算が赤字になった場合は  
料金の改定をしなければな  
らないと考えています。

賛成全員で認定

一般会計補正予算  
庁舎問題について

用地は、きよみ野地内の  
庁舎建設用地が最有力候補  
です。耐震性確保と共に現  
庁舎の諸問題を解決したい  
考えです。有効な財源確保、  
建設費用の削減、将来負担の  
軽減も図りながら、建設の検  
討をします。

賛成多数で可決

# 建設 生活

中川改修工事に伴う市道の  
路線認定(須賀・榎戸地内)

現地視察実施後、幅員を6  
mにする対策は、水路と交  
差するところが歩行の支障  
になるが対策は、の質疑に、  
計画時に国へ要望をしたが、  
現状の道路の機能補償が原  
則なのでできなかった。水路  
との交差部は使用状況を確  
認し、検討するとの答弁。

賛成全員で可決

一般会計決算認定担当分  
前年度と比較し、各款・項・



市道の路線認定 (現地視察)

目で不用額が増えた理由は、  
事故繰越の内容は、等の質  
疑に、東日本大震災による  
影響等で事業の中止や延期  
などがあったためとの答弁。  
また、各項目・目における事  
業等の結果や現状等、今後の予  
定等についての質疑応答。

可否同数、委員長裁決に  
より認定

下水道事業特別会計決算認定  
不用額と繰越額の内容は、  
平成22年度中に下水道に接続  
した件数と未接続件数は、等  
の質疑応答。

賛成全員で認定

農業集落排水事業特別会計  
決算認定  
分担金と使用料の収入未  
済額の内容は、未済額の理由  
は、等の質疑応答。

賛成全員で認定

# 員会の から

文教福祉、9月12日、13日に  
に建設生活の請願審査が行われ

常任委員長が要約しています。